

防災あいずみ

令和4年1月15日発行 第35号

発行元：藍住町総務企画課危機管理室

電話 637-3111

非常用持ち出し袋の準備はしていますか？

平成7年1月17日、兵庫県を中心に未曾有の被害をもたらした阪神・淡路大震災が発生しました。この大災害を教訓に、全国で毎年1月15日から21日を「防災とボランティア週間」として、災害への備え等の充実強化を図る取組を実施しています。

そこで、町では各ご家庭で災害に備えていただくため、町民の皆さんを対象に防災用品（非常用持ち出し袋）の購入支援を行います。

2,000円相当の防災用品が1,000円で購入できますので、ぜひご検討ください。

また、この機会に各ご家庭で防災について話し合いをしてみてください。

○対象者 藍住町内に住所を有し、町税等（町税、国民健康保険税）の滞納がない方

○申込期間 1月17日(月)～28日(金)

※購入者の決定は、先着順ではありません。申込者多数の場合は、抽選で決定します。

※受付窓口での三密を防ぐため、郵送での申込みや、申込期間内でゆとりをもって申込みをするなど、ご協力をお願いします。

○時間 午前9時～午後5時（土・日・祝日は除く）

○場所 総務企画課危機管理室（役場3階南側）

○申込方法 裏面の申込書又は町ホームページからダウンロードして、必要事項を記入の上、窓口又は郵送で申込みしてください。（郵送の場合は当日消印有効）

○販売価格 1,000円

○販売数量 600個

※次の事項を承諾の上、申込みをしてください。

- ・購入は一人一個に限ります。
- ・転売を目的とした購入はできません。
- ・過去に町が実施した同様の事業で、非常用持ち出し袋を購入した方は今回購入できません。
- ・申込者が多数の場合は、抽選となるため、購入できない場合があります。
- ・抽選結果は、当選者のみに「非常用持ち出し袋購入決定通知書兼購入引換券」を送付しお知らせします。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、来庁の際には次のとおりご協力をお願いします。

- ・マスクの着用をお願いします。
- ・検温及び体調の確認を実施します。

（体調がすぐれない方、熱が37.5℃以上ある方は申込みの手続をお断りする場合があります。）

非常用持ち出し袋購入申込書

令和 年 月 日

藍住町長 高橋 英夫 殿

申込者 住 所 藍住町
(委任者)
氏 名

連 絡 先

来庁者 住 所
(受任者)
氏 名

連 絡 先

私は、次の事項を承諾の上、非常用持ち出し袋の購入を申込みます。
また、この申込みに当たり、町長が申込者の住所、世帯構成、町税等（町税及び国民健康保険税）の滞納状況などを確認することに同意します。

- (1) 購入は一人一個に限ります。
- (2) 転売を目的とした購入はできません。
- (3) 藍住町内に住所を有し、町税等（町税、国民健康保険税）の滞納がないこと。
- (4) 過去に町が実施した同様の事業で、非常用持ち出し袋を購入した実績がないこと。
- (5) 申込者が多数の場合は、抽選となるため、購入できない場合があります。

夏休み防災自由研究

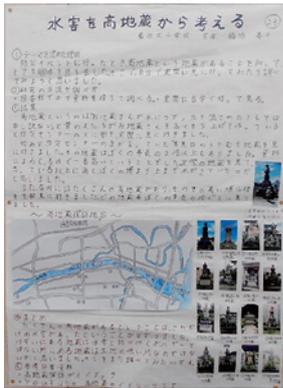
今回で7回目となった夏休み防災自由研究には、町内各小学校から過去最多となる104点の応募がありました。作品は、過去の水害の歴史と高地蔵（高い台座の上に座ったお地蔵さん）との関係についての研究、非常用持ち出し袋の中身の見直し、地震火災の対応方法についてなど、様々な視点から取り組まれた内容となっていました。この自由研究を通して、小学生の皆さんには、災害を自分事として捉えていただき、防災意識が高まってきたように感じました。

令和3年度の入選・入賞者は、次の皆さんです。たくさんの応募ありがとうございました。

○入選・入賞者（敬称略）

最優秀賞

北小学校 5年1組 稲垣 奏斗



優秀賞

北小学校 5年3組 山蔭 里奈



優秀賞

南小学校 3年2組 梶本 咲希



入選

南小学校 5年1組 北原 怜音



入選

東小学校 3年3組 東 蒼偉



入選

東小学校 6年1組 東 芽以



高潮浸水想定について

徳島県では高潮時において、円滑かつ迅速な避難を確保し被害の軽減を図るため、想定し得る最大規模の高潮による氾濫が発生した場合に想定される浸水の危険性について示した高潮浸水想定図を作成しています。

今回の徳島県の想定により、町内で初めて、高潮の浸水が想定されることとなりました。町内で浸水が想定される地域は東部の一部地域（勝瑞地区）です。詳細は、徳島県のホームページをご覧ください。

徳島県高潮浸水想定区域図

検索



なお、令和4年4月に町民の皆さんに配布予定の新しいハザードマップに高潮浸水想定図を掲載する予定です。

高潮とは・・・台風や発達した低気圧が通過する際、海水面（潮位）が大きく上昇する現象

火災から命を守る行動を

令和2年中（1月から12月まで）の全国総出火件数は、34,691件で、死者数は1,326人でした。これは、おおよそ1日あたり95件、15分に1件の火災が発生したことになります。また、町内でも1年間で5件の火災（死者数はゼロ）が発生しています。

住宅火災の出火原因別死者については、多い順に放火、たばこ、ストーブ、電灯電話等の配線となっており、気を付ければ防ぐことができる火事が多いことがわかります。

特に冬場は火災が増加します。火災予防チェックシートを利用して、火災を防止しましょう。

住宅防火 いのちを守る 8つのポイント

～4つの習慣、4つの対策～

4つの習慣

- 1 寝たばこは、絶対やめる
- 2 ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する
- 3 ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す
- 4 コンセントはほこりを清掃し、不必要なプラグは抜く

4つの対策

- 1 逃げ遅れを防ぐために、住宅用火災警報器を設置する
- 2 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、防災品を使用する
- 3 火災を小さいうちに消すために、住宅用消火器等を設置する
- 4 お年寄りや身体の不自由な人を守るために、隣近所の協力体制をつくる



火災予防チェックシート

①たばこ
<input type="checkbox"/> 寝たばこはしていないか
<input type="checkbox"/> 灰皿に吸殻は溜まっていないか※努めて水を入れましょう
<input type="checkbox"/> 吸殻は完全に火が消えているか※捨てるときは水につけてから
②ストーブ
<input type="checkbox"/> カーテンや家具等、燃えやすい物の近くにストーブを置いていないか
<input type="checkbox"/> ストーブの上に洗濯物を干していないか
<input type="checkbox"/> ストーブに給油するときは、必ず火を消してから行っているか
<input type="checkbox"/> 給油する燃料は間違いないか
③電気配線器具
<input type="checkbox"/> 使用しているコンセントにはほこり等が付着していないか
<input type="checkbox"/> タコ足配線はしていないか
<input type="checkbox"/> 電気ランプ等、熱をもつ電気器具の上でタオル等を干していないか
<input type="checkbox"/> 壊れた又は壊れそうな電気器具を使用していないか※コードの劣化等
④こんろ
<input type="checkbox"/> こんろの周りに燃えやすいものを置いていないか
<input type="checkbox"/> こんろの使用中にそばを離れる場合は必ず火を消しているか
<input type="checkbox"/> ガスホースは劣化していないか
<input type="checkbox"/> 換気扇は掃除されているか
<input type="checkbox"/> 近くに消火用具は設置しているか